

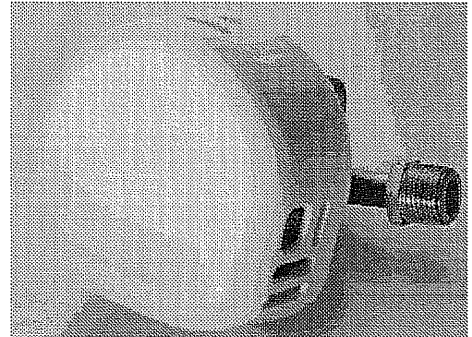
高温水供給タイプ用循環金具

高温出湯防止タイプ BMZAWS-L BMZAWS-S

50266 : BMZAWS-L 定価¥17,000(税抜) L型ネジ接続タイプ(R1/2)

50267 : BMZAWS-S 定価¥17,000(税抜) S型ネジ接続タイプ(R1/2)

- ・高温水供給タイプの風呂給湯器に使用する循環金具(バスアダプター)です。
- ・1穴で給湯(差し湯)のみの出湯です。
- ・浴槽に水(湯)が張ってない時に、出湯を停止する安全装置を搭載しています。

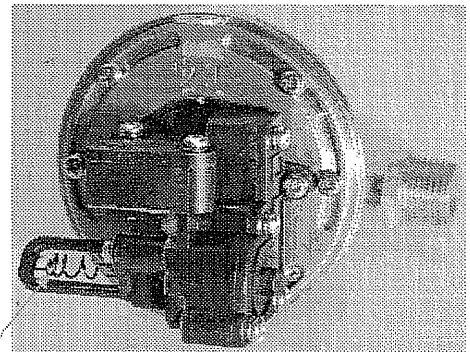


(写真はBMZAWS-L)

【安全装置】

—高温出湯防止—

- ・浴槽に水(湯)が張っていない状態で「差し湯」(リモコンのスイッチ表示は『おいだき』『あつめ』になります)を使用しますと、万が一浴槽内に人がいた場合は火傷をする可能性があります。
- ・風呂給湯器側では浴槽に水(湯)が張ってあるかないか判別する事はできません。(温度センサーは湯温を測定するだけで、お湯の有り無しは判別できません)
- ・高温防止用の循環金具であれば、循環金具自体で水(湯)の有り無しを判定して、無い場合は循環金具自体で止水します。※



※やけど防止のための止水になり、完全止水ではありません。若干の漏れがあります。カバーを外した状態 (写真はBMZAWS-L)

左下のバネで差し湯の温度を検知し水(湯)が張ってあるかないか判定する。

形状記憶合金付高温差湯金具性能仕様書

1. 使用条件

	項目	使用条件
1	使用流体	上水道水
2	水温	0℃～85℃（ただし凍結なきこと）
3	使用圧力	0.2Mpa (2kgf/cm ²) 以下
4	浴槽厚さ	20mmまで

2. 製品寿命

	項目	使用条件
1	製品寿命	2000回動作させて下記性能を満足する
2	故障判定基準	ゴムパッキンの劣化による水漏れ

3. 性能結果（下記試験項目を満足する性能であること）

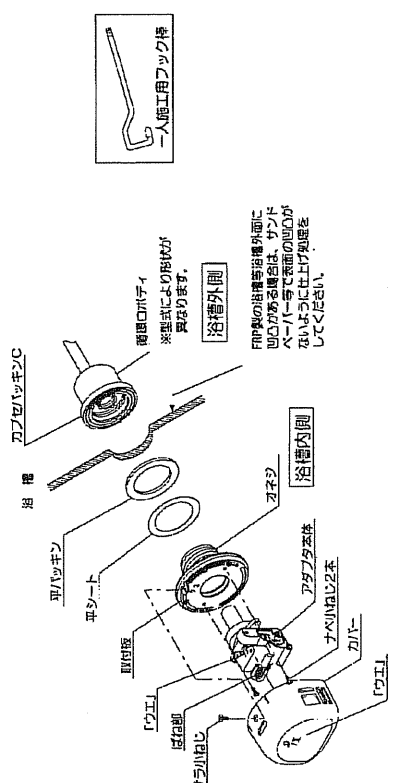
	項目	基準	検査結果	
1	高温遮断機能	浴槽が空の状態	・ 70℃以上で湯量5L/minの湯が出た時出湯を停止すること。 ・ 80℃の湯が出た時、出湯開始して5L以下で出湯を停止すること。 ・ 48℃の湯張りをした時出湯を停止しないこと。	合格
		浴槽に湯を張った状態	・ 80℃で湯量10L/minの湯が出た時出湯を48℃以下で停止しないこと。	
2	耐圧試験	オネジを20Nm (200kgf・cm) のトルクで締め付けた後、漏れ検査治具にて気密試験を行う。 水圧：0.2Mpa (2kgf/cm ²) 30分間漏れなきこと。	合格	
3	遮断時リーク量	閉弁時に150KPa加圧した時、1.4L/min以下の漏れ量であること。	合格	
4	耐熱性	85℃の湯に2週間浸漬し、著しい変形なきこと。 (336時間)	合格	

高温水遮断風呂アダプター取付説明書

△注意

- 工事をされる方へのお願
 - 機器を正しく安全にご使用いただくため、この工事説明書をよくお読みになり、指定された工事を行ってください。
 - 機器本体に付属の取組工事説明書も併せてお読みください。
 - 工事説明書の取組条件を必ず守った取組が原因で生じた故障などは、保証期間内であっても保証の対象となりませんのでご注意ください。

● この風呂アダプターは浴槽内厚20mm以下用です。



■ 分解方法

- ① サラ小ねじを取りはずし、カバーを取りはずしてください。
- ② ナベ皿ねじ2本を取りはずし、アダプター本体を取りはずしてください。

△注意

アダプター本体は分解しないでください。また、はね部に手を触れないでください。故障の原因となります。

※ねじ・平ハットキン・平シートは絶対になくさないでください。

■ 施工方法

1. 浴槽の穴あけ
 - 浴槽の底部から約100～150mmの位置にφ50の穴を1箇所あけてください。このとき、穴の中心から45mm以内は浴槽底面の曲がりからかららない位置にし、平面部を確保してください。また、バリはきれいにとってください。
 - FRP製の浴槽等浴槽外面に凹凸がある場合は、サンドペーパー等で表面の凹凸がないように仕上げ処理をしてください。仕上げが不十分な場合は、水漏れの原因となります。
 - 外面が保温材で仕上げられている場合は、取付面の凹凸の仕上げ処理が可能範囲まで除去してください。

2. 浴槽アダプターの取り付け

- ① 循環ロボティの中のエネジにフック棒を合わせてフック棒が回らなくなるまで左に回してください。

② 浴槽の穴にフック棒の柄の部分を引きつけてください。

③ 浴槽側からフック棒を引き寄せ、平ハットキン・平シート・オネジを通し、オネジを循環ロボティに手締めしてください。
(平シートは必ずオネジ側になるように取り付けてください。浴槽側に取り付けたと水漏れの原因となります)

④ フック棒を右に回して取りはずしてください。

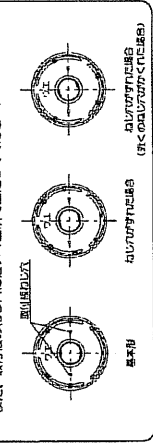
⑤ 専用の締め検査兼用工具(AGDX-3)をオネジに差し込み、右に回して約14.7N・m (150kgf・cm) 程度固定してください。めやすは手で軽く回らない状態になった後、さらに1回転程度右へ回してください。

● オネジの締め付け不足は水漏れの原因となります。
● オネジを締めつけた際に平ハットキンが変形した場合は、一度オネジを取りはずし、再度締め付けてください。
(平ハットキンを水でぬらすと変形しにくくなります)

⑥ 取付板を固定しているナベ皿ねじ4本をゆるめ、取付板を「ウエ」マークが上にくるように合わせてから、ナベ皿ねじ4本で締め付けてください。合わせられない場合は、いったんナベ皿ねじ4本を取りはずし、取付板を「ウエ」マークが上にくるように合わせてから、ナベ皿ねじ4本で取り付けてください。

△注意

- 取付板は必ず正しく取り付けてください。
- 取付板は必ずナベ皿ねじ4本で固定してください。また、取付板のねじ穴に正しい番号で固定してください。



⑦ 漏れ検査

- 専用の締め検査兼用工具(AGDX-3)を使用して、ふた配管の漏れ検査を必ず行ってください。
- 浴槽の外側(循環ロボティ側)の水漏れがないことを確認してください。

浴槽の内側(オネジ側)の水漏れの場合、オネジと平シートの間からの水漏れは関係ありません。

● 検査は水圧100kPa (約1.0kgf/cm²)・5分間です。
(200kPa (約2.0kgf/cm²)以上加圧しないこと。機器本体を加圧しないこと)

⑧ アダプター本体を「ウエ」マークを上にしてナベ皿ねじ2本で取り付けてください。

⑨ カバーを「ウエ」マークを上にしてサラ小ねじで取り付けてください。

注) カバーを取り付ける際は、必ずカバーのつめ(3カ所)をオネジの溝に差し込んでください。

△注意
● カバーを取り外した状態で使用しないでください。高温水漏れが行えませんが、強酸性の洗剤や塩素系のかき洗剤は機器を傷める恐れがありますので使用しないでください。
● この取付説明書は、工事終了後に必ずお客様にお渡ししてください。

